

「第7回科学の甲子園ジュニア全国大会」に出場しました

12月6日（金）～8日（日）の日程で、「第7回科学の甲子園ジュニア全国大会」が茨城県つくば市で開催され、中学2年の阿津川仁君、松間幸太郎君、黒川陸斗君、澤田良太君、毛利昂聖君、志田創亮君の6名が福井県代表として出場しました。

各都道府県から選抜された47チーム、合計282名の中学生たちが、理科や数学に関する知識とその活用能力を駆使して、筆記競技、実技実験競技、実技工作競技の3部門に挑戦しました。福井県代表チームは、9月に開催された最終選考会で選抜された本校2年生6名で編成。大会出場前には、全国大会出場経験のある高校生や中学3年の先輩からもアドバイスをいただきながら事前課題や問題研究に取り組み、大会では各都道府県の代表チームとともに理数系の難問に全力で挑みました。残念ながら入賞することは出来ませんでしたが、未知の課題に仲間と挑戦し、絆を深めるとともに、他県の出場選手とも交流し、科学の楽しさを存分に味わえた3日間となりました。出場した生徒からは「仲間と協力して全力で取り組んだが、入賞できず残念。科学の甲子園全国大会（高校）で、またこの会場に戻ってきたい。」などの声がありました。

来年度からの3年間、科学の甲子園ジュニア全国大会（中学）は兵庫県姫路市、科学の甲子園全国大会（高校）は茨城県つくば市にて開催されます。出場した6人の生徒自身が3年後のリベンジに向けて努力を続けるとともに、来年の大会出場を目指す1年生に今回の経験を受け継いでいくことを期待しています。



先輩からのアドバイス



福井県代表として出場した生徒たち